

《報告書》

多者協働のまちづくり
「なくしたい！
子ども・若者の生きづらさ」

日時：令和3年11月13日（土）

午後1時30分～4時30分

場所：西東京市役所 田無第2庁舎4階 会議室

主催：西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ

目 次

1. 本事業の目的と概要	1
1.1 本事業の目的.....	1
1.2 開催概要.....	1
1.3 プログラム.....	1
1.4 参加者.....	1
2. 内 容.....	2
多者協働のまちづくり 「なくしたい！子ども・若者の生きづらさ」	
3. 資 料.....	3
4. アンケート.....	3

1. 本事業の目的と概要

1.1 本事業の目的

地域連携促進事業として、平成27年度から「協働のまちづくりワークショップ」では、多者協働の実例、実践方法等を市民、行政、企業など様々な立場の参加者で学び、協働のきっかけに繋がる場として企画開催してきました。

多者（マルチステークホルダー）協働の推進・基盤づくりに向けて西東京市の市民活動団体、行政、企業等の参加者がともに学び合うことで、互いの特性や違いを理解する。さらに、互いの利点を生かした協働による課題解決へのきっかけに結び付けることを目的としました。

昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、実施することができなかった「協働のまちづくりワークショップ」は、今年度「多者協働のまちづくり」とし開催することとしました。

また、事業全体の根底に、「子どもにやさしいまちづくり」をすえて展開したいという思いをもっており、今回のテーマは「なくしたい！子ども・若者の生きづらさ」としました。大人たちが子どもの課題に向き合い解決をすすめるためには、対話のコミュニケーションができることが必要です。今回は、人の話を聴くこと、耳を傾けること、当たり前と思いがちな基本的なことを改めて実感し、よりよい関係性を構築し、それぞれの活動や協働推進に繋がることを目的としました。

1.2 開催概要

日 時 令和3年11月13日（土）午後1時30分～4時30分
場 所 西東京市役所 田無第2庁舎 4階 会議室
講 師 NPO法人 日本ピーススマイル協会 代表 越智創氏
対 象 西東京市の市民活動団体
定 員 30名募集

1.3 プログラム

13時30分～ 挨拶
ゆめこらぼ 小松真弓センター長
13時40分～ 講演・ワークショップ
NPO法人日本ピーススマイル協会 代表 越智創氏
15時15分～ 休憩
15時25分～ ディスカッション
16時10分～ 全体振り返り・共有
16時25分～ 閉会挨拶
アンケート記入

1.4 参加者

市民 26人（講演のみ参加者2人含む）

2. 内 容

講 演 「子ども・若者の生きづらさをなくすために」



NPO 日本ピーススマイル協会
代表 越智創氏

NPO 法人日本ピーススマイル協会は、主に青少年教育に関する事業を行い、自他の価値を認め、自殺とうつのない平和な社会の構築をすすめています。

青少年が自己肯定感を育み、自分の存在価値、尊厳が認められることについてデータを元に具体的な説明をされました。また大人たちが認めあうことは子どもを受容し認めることへも繋がり、子どもにも大人にとっても、自分を認めてくれる人・場所の存在は生きづらさをなくすことだと学びました。

ワークショップ



自己肯定感を育む体験型ワークショップ「ピーススマイル」の実践

- ①相手の名前を呼び、笑顔であいさつ
- ②ほめる(相手への関心をもち認めること)、そして相手は、言われた事を肯定する
- ③お互いに感じたことについて対話をする
- ④感謝する

ゆめこらぼスタッフによる試行

ディスカッション



- ①ディスカッション1
今回感じたことを共有するフリートーク
- ②ディスカッション2
子ども・若者たちのために各自ができること、やってみたいことについてフリートーク
- ③グループごとに発表



グループごとに、各自ができることを書き留めました。

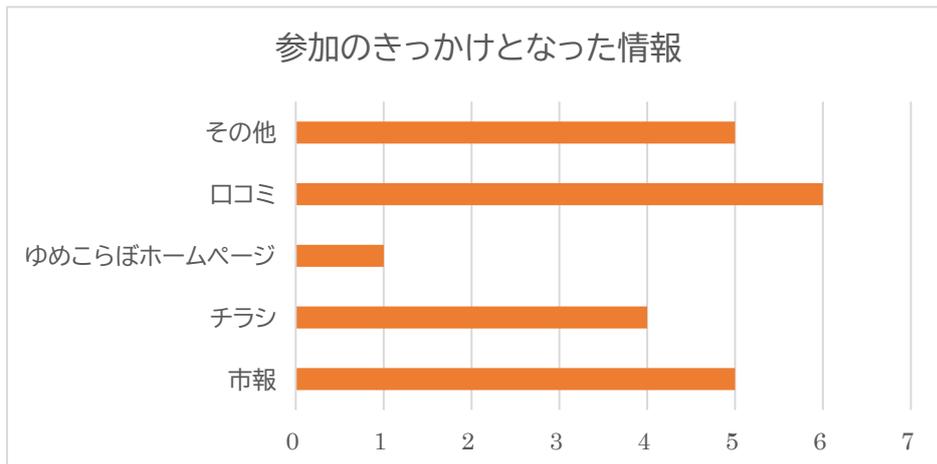
3. 資料

資料はこちら

https://docs.google.com/presentation/d/12M0-K6uoW0opXlQqdFUQWqWAj9Zk-Kg6-RWP95F_UY/edit#slide=id.pl

4. アンケート

参加者：26人 回答者：20人



気づいたこと

リアルに会って話ができたことが嬉しく、楽しく、とても学びの時間だったです。自分が満たされることで、人のことも考えられると思います。何か始めたくくなりました。

具体的な生きづらさを会場に入って認識しました。女性ばかりで男性が少なく、出席しづらさを感じました。これは20年たっても出席しづらさは変わっていない。ジェンダーを意識させる催事に出席した者に主催者は肯定感をもってもらえるようにしていただければいいと思います。

課題を感じられている方がたくさんいて嬉しかったです。若者や子どもをサポートしていけるよう大人が変わらなければいけないのかなと思いました。

参加者同志のお話しがとても楽しく又、勉強になりました。

思いがけず、初めての方にも今までと同じような点を誉めていただけて私は何もしなくても（努力しなくても）そういう自分なのかと少し安心しました。（自己肯定感が低いので）

大人が生きづらくなく仲良く暮らしていたら子どもの生きづらさはなくなるのかも・・・と感じた。

始められそうなこと、できそうなこと

子どもたちと積極的に関わっていきたい。

認めることは、重要だが、「ほめる」にも功罪があるように思う。本当に苦しい人間が求めるのは、そのような陽のパワーではなく、圧倒的な影による支えなのではないだろうか。抽象的になってしまったが、「ほめる」こと自体を否定するつもりはない。

自分が行っている（がん教育）活動を通してSOSを出していいんだよを伝え広げていきたい。

今しているボランティア活動につなげていきたいです。

大人があそぶ姿、チャレンジする姿をみせることも大切！と気づきました。（高齢の方の発表を伺って）

まずは自分自身をほめる。身近な人をどんどんほめる。

子どもたちにもおそれずに会いに行きたいと思います。

その他 気づき・相談・要望など

人と直接お会いして、コミュニケーションをとることがとても楽しいと感じました。

大人をほめる講座もひらいてほしい。

多者の集いをもっと開催してくださいね、団体内だけだと煮つまることも話せたり笑い合ったりできますので。

いろいろなご準備ありがとうございます。

案内もばっちりでしたので会場に無事にこられました。

とても良い企画でした。出会いに感謝してます。